

# GaN研究コンソーシアム第一回研究会 「Society5.0 社会実現に貢献するGaN高周波デバイス」

平成 28 年 11 月  
GaN研究コンソーシアム事務局

GaN研究コンソーシアムは、産学官の各会員機関が組織の壁を越え共創するオープンイノベーションの場を構築し、我が国の持続的発展と各機関の成長に貢献することを理念としています。

これを踏まえて、パワーデバイス、光エネルギー、電波エネルギーに関する次世代半導体の革新的な知見をいち早く社会実装するため、会員を対象として、様々な用途への応用のためにデバイスに対して求められる要件を解明していくことを目的とした研究会を行うこととしました。

第一回研究会は、高周波通信応用の観点から、応用開発の方向性と、将来直面するであろう課題についてご紹介をいただきます。対応して、GaNデバイス側の開発状況について、開発の最前線の方からご紹介をいただき、応用が目指す方向性に沿ったデバイス開発の目標・あり方について議論いたします。

## ◇開催日時

2016年 12月14日(水) 13:00~17:30

## ◇開催場所

国立大学法人 名古屋大学 ES総合館1階ES会議室

(<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/higashiyama/congre.html>)

## ◇プログラム

13:00~13:10	開催挨拶	天野 浩 名大
13:10~14:10	第4次産業革命実現に求められる ウルトラブロードバンドワイヤレスの課題と、 実現のためのキーテクノロジー	藤原 洋 ブロードバンドタワー(株)
14:10~15:00	ウルトラブロードバンドの実現のため、 高周波デバイスに求められるもの	金子 友哉 日本電気(株)
コーヒーブレイク		
15:20~15:50	GaN高周波デバイスの現状と開発方向 ～ 高周波化による大容量化への取組み ～	原 直紀 (株)富士通研究所
15:50~16:20	GaN高周波デバイスの現状と開発方向	平野 嘉仁 三菱電機(株)
休 憩		
16:30~17:30	パネルディスカッション ～ ウルトラブロードバンド通信実現に むけてのデバイスの開発方向 ～	【司会】宮本 恭幸 東工大 講演者(4名全員) 塩崎 宏司、加地 徹 名大

- ◇対象者 原則としてG a N研究コンソーシアムの会員である機関に所属する方
- ◇定員 70名
- ◇募集期間 2016年11月末まで（応募者が上記定員に達した段階で募集を締め切ります）
- ◇参加費用 [G a N研究コンソーシアムの会員の機関]  
無料
- [G a N研究コンソーシアムの会員でない機関]  
1万円/人（注：会員機関の参加を優先し、定員の範囲内で参加を認めます）

---

研究会終了後に懇親会を開催いたします。  
ぜひ、こちらもご参加ください。

- ◆懇親会参加費：3000円
- ◆会場：研究会の会場隣り「シェ ジロー」<http://chezjiroud.jp/>
- 

### 参加申し込み方法

下記事務局に、電子メールでご連絡ください。

申し込みの際は、①参加者氏名 ②所属機関 ③職業(学生または役職) ④年齢 ⑤連絡先(電話番号とメールアドレス) ⑥懇親会への出欠 を明記ください。

場所・時間等の詳細は、参加登録後にメールでご連絡します。

個人情報を本研究会参加登録以外の目的で使用すること、及び第三者に提供することはありません。

### 【申込み・問い合わせ先】

G a N研究コンソーシアム／研究会事務局

E-MAIL: [gan-con@aip.nagoya-u.ac.jp](mailto:gan-con@aip.nagoya-u.ac.jp)（電話 052-747-6584）

### 【事務局メンバー】

名古屋大学

研究協力部社会連携課：加藤 史征

学術研究・産学連携推進本部 企画戦略グループ：佐藤 浩哉、笹岡 千秋、山口 淳